

町のうごき	
本籍数	4,568
本籍人口	14,845
世帯数	3,437 (3,434)
住民登録人口	13,619 (13,620)
内 男	6,590
内 女	7,029

3月1日現在
()は内2月1日現在

天王町のうごき

No. 100

昭和47年

4月1日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135

編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038



▲提出議案を審議する議員

“当初予算”

3億9千万円

3月定例議会 21案件を可決

三月定例議会が三月十一日に開かれ、会期を二十七日までの十七日間と決めたあと、町長の施政方針説明が行なわれた。

十三日、十四日には一般質問が行なわれ、一日目は二十三番、十番、十三番、二十五番、七番、十八番、八番の七議員が、また二日目は、五番、二十二番、十六番、二十番の四議員が、農業、道路、福祉、教育など各般にわたって町当局に問いただし、引き続き議案審議にはいった。

今回、議会上程された案件は、四十六年度の一般会計補正予算、四十七年度予算の三案件をはじめ、町条例一部改正の十二案件など二十二案件で、一案件を継続審議、二十一案件を可決して二十七日に閉会した。

可決されたおもなものは次のとおり。

46年度の一般会計に 一千五百二十七万円

今回で最終補正だが、一般会計に一千五百二十七万円が追加され、これによって四十六年度の最終額は、四億九千三百二十二万六千円となった。

内訳は、出戸小学校のプール用地の購入費百三十二万円と造成工事費六十七万四千円、天王小学校の三期工事に伴う、旧校舎の解体工事費四十五万円などとなっている。また、湖岸地区

の福祉センター建設用地の造成工事費一千三百九十九万四千円が四十七年度に繰り越して使用することになった。

議員、三役などの 費用弁償を改正

議会議員の費用弁償が改正され、日額六百円が八百円に改められた。また、議会議員、三役の出張時の日当が、一日につき一律六百円のものから、八百円、県内八百円に改められた。

さらに、農業委員、教育委員などの非常勤特別職の費用弁償が改正され、日当一日につき六百円が県外八百円、県内六百円に改められ、町職員の旅費に関する条例も一部改正され、出張時の日当が、いままでは一律四百円であったものが、四月から一等級職員(課長、事務局長など)が県外九百円、県内七百円で、その他の職員は県外八百円、県内六百円に改められた。

消防団員の費用 弁償なども改正

消防団員が、水災、警戒、訓練などに従事する場合の費用弁償が、水災の場合は一回につき三百円が四百円に、警戒、訓練などは一回につき二百円が二百五十円に改められた。また日当が一日につき、六百円のもの

のが県外八百円、県内六百円に改められた。

教委の職員定数 ひとり増

天王中学校に職員をひとり増員するため、町職員定数条例が一部改正され、教育委員会の職員定数十四人が十五人になった。

南秋八町村で視聴覚 教育の協議会を設立

この協議会は、南秋田郡八町村が教育の振興と住民の生活文化の水準を高めるため、視聴覚教材などを充実し、共同で行なう施設、購入、保管、利用、研究などを合理的に行なおうというもので、視聴覚ライブラリーの設置や、この教育関係の事務を共同で行ない、振興、研究指導にあたるもの。これは四月一日から施行される。

交通安全対策の 会談条例を制定

現在の陸上交通量の増大と交通機関の大型化、高速化などに対応する施策を、県と調整し交通安全を図ろうというもので、交通安全についての計画を作成しこの安全に関して、総合的に進めようと制定されたもの。

会の委員定数は十人。

町民税、固資産税が 標準税率に

町税条例の一部改正により、これまでの町民税の税率一・二倍が四月から標準税率の一・〇に引き下げられる。これは、超過課税を解消するとともに、住民の負担を軽減しようとするもの。

また、固定資産税も百分の一・五が四月から標準税率の一・四に引き下げられた。

入居条件などが改正

町営住宅条例の一部が改正され、住宅の入居条件が一種住宅の場合、入居希望者の収入額が申し込みにした日において、いままでは二万四千から四万円以下となっていたのが、二万七千円から四万六千円以下に改められ、二種住宅の場合は、収入額二万四千円以下であったのが、二万七千円以下に改められた。

この他、公募の例外、割増賃料などが一部改正された。

八分館に主事を増員

町公民館の設置条例の一部が改正され、八分館に主事が増員されることになった。

いままでは、各分館とも一律に主事一名づつであったが、この改正で天王、二田が三名、羽立大崎、塩口、上戸、追分、出戸新町が各二名、その他の分館はいままでどおり一名となった。

手数料条例も一部改正

町手数料条例の一部が改正され自動車臨時運行許可の手数料が一件につき二百円となった。

監査委員に金氏

三月三十一日で任期満了の町監査委員に、大崎の金栄一氏が再任された。

のが県外八百円、県内六百円に改められた。

教委の職員定数 ひとり増

天王中学校に職員をひとり増員するため、町職員定数条例が一部改正され、教育委員会の職員定数十四人が十五人になった。

南秋八町村で視聴覚 教育の協議会を設立

この協議会は、南秋田郡八町村が教育の振興と住民の生活文化の水準を高めるため、視聴覚教材などを充実し、共同で行なう施設、購入、保管、利用、研究などを合理的に行なおうというもので、視聴覚ライブラリーの設置や、この教育関係の事務を共同で行ない、振興、研究指導にあたるもの。これは四月一日から施行される。

交通安全対策の 会談条例を制定

現在の陸上交通量の増大と交通機関の大型化、高速化などに対応する施策を、県と調整し交通安全を図ろうというもので、交通安全についての計画を作成しこの安全に関して、総合的に進めようと制定されたもの。

会の委員定数は十人。

町民税、固資産税が 標準税率に

町税条例の一部改正により、これまでの町民税の税率一・二倍が四月から標準税率の一・〇に引き下げられる。これは、超過課税を解消するとともに、住民の負担を軽減しようとするもの。

また、固定資産税も百分の一・五が四月から標準税率の一・四に引き下げられた。

入居条件などが改正

町営住宅条例の一部が改正され、住宅の入居条件が一種住宅の場合、入居希望者の収入額が申し込みにした日において、いままでは二万四千から四万円以下となっていたのが、二万七千円から四万六千円以下に改められ、二種住宅の場合は、収入額二万四千円以下であったのが、二万七千円以下に改められた。

この他、公募の例外、割増賃料などが一部改正された。

八分館に主事を増員

町公民館の設置条例の一部が改正され、八分館に主事が増員されることになった。

いままでは、各分館とも一律に主事一名づつであったが、この改正で天王、二田が三名、羽立大崎、塩口、上戸、追分、出戸新町が各二名、その他の分館はいままでどおり一名となった。

手数料条例も一部改正

町手数料条例の一部が改正され自動車臨時運行許可の手数料が一件につき二百円となった。

監査委員に金氏

三月三十一日で任期満了の町監査委員に、大崎の金栄一氏が再任された。

なお、町民税、固資産税とも四十六年度分までは、いまままでどおりです。

塩口に児童館

塩口部落に町立児童館を設置するため、児童館設置条例にこれが増えられ、これで四カ所になった。建設場所は天王宇天塩一・二七番地。

また、この建設資金として塩口部落会長の石川金蔵氏から百万円の寄付の申し出があり、これを採納した。

町長施政方針説明要旨

豊かな平和な町を建設

昭和四十七年当初の定例町議会に際し、新年度予算を中心に重要案件の審議を求めにあたり私の所信の一端を申し上げます。



▲施政方針を説明する町長

試験の年に全力で

今年度は、私が町政を担当して以来八年目、すなわち二期目の最終年次の意義ある年であり、最近における町内外を取りまく諸状況は誠に厳しく、財政的にも平価切り上げ、円内庄、外庄、四次防など国の予算も波乱を含みだしています。

減反と不作でゆれた昨年の農家経済、国の農業政策の後退と相まって、農家の不安が日増しに強まっている中に、三年目を迎える米の生産調整問題、転作等、農業の体質改善が迫られているとき、これらの厳しさを予算面にどうあらわすべきか、国自体が大きな転機に立っていると同様、県も町もひとつの方向転換に迫られているとなれば、八方から満足を得ることよりも

新しい観点に立った重点予算が強く出されるべきであると考えながら、財源難という厳しい財政事情を背景に編成された予算ではあります、必ずしも満足すべきものではありません。しかも、重点事項のいくつかは、国の採択の結果をみなければならぬ関係上、当初予算にもれず、六月以降の予算編成になり、したがって当初予算の延び率は十五・一%と僅少であります。

また、ドルショックによる産業界の不況の影響をうけ、今年度の地方交付税の伸びは期待できず、町民税率の標準化による減税(五百七十万円)等により本町の財政も下降線をたどる様相を示しています。その反面、人件費や経常経費は年々増高の一途をたどり、財政の圧迫は明白であり、七十年代に大きく飛躍せんとする本町

にとつては、正に大試験の年である

本年度の重点施策

◎産業の振興 農政は近代化の方向へ

本町農業の主体である稲作は三年目の生産調整を迎え、すでに本町に対し、

- ①米生産調整数量一千二十トンの ②申し込み限度数量六千六百五十五トン ③生産調整面積百九十六haの割り合いが示され、昨年よりは、幾分緩和されたといえ、農家の減反不信は根強く過去二年間「正直者が馬鹿を見た」という感情的反発は「農政不信」に結びつき、行政当局の姿勢を問う声すら聞かれますが農政では解決できませんが、農家の表情を見るとき、今日の問題もさることながら、あすへの農業に目が移っている現実をとらえ、保護的農政よりも近代化(流通対策、価格安定等)への割り切った農政が必要であると痛感し、今後国、県へ積極的に働きかけるとともに、本町に適合した農業施策を関係各機関とご協議の上、具体化してゆかねばならないと考えています。生産調整に関しましては、農家の方々も過去二カ年の体験で

あります。このような重大な時にこそ、町民各位の「創造と英智」を呼び起こし、各々が一体となり、町の基本構想に基づき町将来の方針を誤らぬ諸施策こそ、もっとも大切であり、かつ必要であると考え、次第です。昭和四十七年度の一般会計の歳入歳出予算は、ともに三億九千四百六十六万二千円です。

ご認識をいただいていると思います。町は、行政の立場上ももちろん協力しなければならぬ立場にありますが、これは農家自身の問題として解決していただき、今後協議会等開催され、方向が決定されると思っておりますが町としては、現在のところ強制する考えはありません。

工業開発にしましては、県の第三次総合開発計画も二年目を迎え、大規模工業開発計画、新産業都市計画、広域行政圏の指定等との関連性をどうとらえ、位置づけてゆくかが今後の大きな問題であり、また経済界全般の不況ムードで設備投資の抑制と相まって、工場誘致に関しては多くの期待ができない現状ではあります、農業と工業の調和のとれた住みよい町づくりを推進したいと考えています。また、中小企業特別融資の基金として、三百万円を関係機関に寄託して、町内業者に金融の道を開いています。

私は、学校教育、社会教育を通じて人づくりに努力することにももちろんですが、各々が日常生活の間にも自ら求め、常に反省を怠ることなく、修養の場を見出す自覚こそもっとも大切なことであると考えています。今年度の教育予算は一億三千五百七十八万八千円。天王小学校改築工事は、第三期工事(屋内運動場)の完成により、終了することになります。天王中学校は、老朽校舎の指定をうけられなかったため、今後五カ年は改築計画に取り入れられなくなりました。追分小学校屋内運動場の件は、昭和四十七年度に老朽の指定をうけられますが、昭和四十八年度以降でなければ文部省の補助起債の対象にならない現状です。なるべく早い機会に建設するよう努力いたします。

環境整備の中で、もっとも町民から要望されています道路の整備につきましては、就任以来最重要事項として取り上げ、町道舗装0mから出発し、約二万一千mになっており、町単独事業だけでは財源難により、その成果は期待できませんが①農道舗装 ②農道整備事業等、制度資金の活用により、充実をはかり、他の市町村におとるような計画でもり進めています。本年度は町単独舗装事業として

- ①二田追分線 ②追分長沼線 ③二田新町住宅道路 また農道整備継続事業として ①児玉地区 ②北野地区等であり、新規事業は未決定ですが、計画を立て、その整備強化を進めてまいりたいと存じます。また、本町にとって懸案事項であります下水道の整備につきましては、県が下水道を各水系ごとに広域下水道計画の策定に

です。育英会も町民各位の絶大なるご協力の下に設立され、今年度から発足する運びになりましたことは、誠によろこばしい限りであります。高度経済成長の過程において生じた公害や交通事故等による不幸な家庭も数多くこれらをもくめた経済環境に恵まれない人々の才能と個性を発揮させるためにも、愛の手をさし、人材の養成をはかることは現代に生きる社会人の使命であり、責務であると思っております。

幼児教育につきましては、保育所の増設とその内容の充実をはかるとともに、遊具等にも配慮をいたしました。私学教育の振興を考え、私立幼稚園の運営費に対する助成もいたしました。

着手する今年度から、南秋田郡各町村も大規模工業開発計画の事業として調査段階に入り、昭和四十九年から実施段階に入る確約を県と交わしたことは、大きな収穫であり、膨大な事業ではあります、年次計画を立て意欲的に取り組み、その実現に努力する覚悟です。公害防止につきましては、常時意を用い、養豚、養鶏等の畜産公害の防止や自然の美化を保つとともに環境の整備をはかりたいと考えています。昭和四十八年度を用途に天然ガス事業の推進をはかるべく、調査費を計上してあります。これにつきましても、資源確保、許可、ブローパイヤ関係等、いろいろの問題もありませんが、じゅうぶん調査検討して、早い機会に実現したいと考えています。

ガス事業の調査費を計上

愛情ある福祉行政を

町民の健康増進と福祉の向上は、いかなることよりも、もっとも大切なことであります。町民の健康につきましても、健康推進委員会の充実強化をはかることも、町民皆検査の促進をはかってまいりたいと存じます。

老人福祉につきましては、老人クラブに対する助成の増額、老人の家の建設、電話の設置等とあわせて、国の施策も考慮の上、関係団体とも協議いたし

恵まれない人々のため、愛情の通った福祉行政を前向きに検討いたしましたと考えています。

また、町行政の中核である町職員の綱紀粛正に関しては、常に意を用いており、各自の自覚によりその成果も着々あがっているものと確信しています。職員

の志気を鼓舞する意味において、このたび、長年の懸案であった職員給与の中ダルミ是正を

実施いたすとともに、職員ホールの建設を当初予算に計上してありますので、職員各位は公務員の使命を再認識するとともに町民の信頼と期待にこたえるよう、一段の奮起を促すものであります。

国保と水道

国民健康保険事業特別会計予算は、歳入歳出とも一億四千七百五十三千円です。国民健康保険税においては、五千二百八十一万二千円と昨年より二十七万円減になっておりますが、不況の経済状況下において、多大のご負担をおおせ、誠に申し訳ございませんが、制度上の問題もあり、かつ町民の健康を守るための相互扶助の精神をもって、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

る次第です。

簡易水道事業特別会計予算は歳入歳出とも四百八十八万五千円です。歳入においては、昨年比五十八万七千円の増加となっております。現在の水道施設の耐用年数、能力等じゅうぶんは(把握)するともに、水質検査等にも意を用い、住民サービスの向上をはかりつつ、増収に心がけるよう努力いたしたい、所存です。

最後に、我が天王町は現在幾多の試練にたたされておりますが、地の利を占め、将来無限に発展する可能性を秘める若さや迫力に満ちた夢多き郷土「躍進天王町」であります。おりとも、子どももひとりの町民として、郷土愛と人間愛に徹し「正しいことは正しい、悪いことは悪い」と正邪の判断を誤らぬ良識と連帯感をもってゆくなれば「明るく、豊かな平和な天王町」の建設

は期してまつべきものがあります。町民各位が、今こそ明るい希望をもち、一致団結してがんばらなければならない大切な時であることを自覚するとともに、私自身、心を新たに懸念の努力をいたす覚悟です。

以上、所信の一端をのべ、議会ならびに町民各位のご理解、ご協力を衷心よりお願い申し上げます、説明にかえる次第です。

一致団結して町発展へ

三月定例議会は、十五日から各常任委員会で四十七年度の予算案を審議、二十七日の本会議で一般会計、特別会計とも原案どおり可決され、四十七年度の当初予算が決まりました。

＊ ＊ ＊

＊ ＊ ＊

一般会計の主なものは、職員装に五十八万三千円。江川線舗装に二百二十万円などとなって、二億四千六百一十千円を五千万円上回った。

特別会計では、国民健康保険事業が四十六年度を四百四十三万二千円上回る一億四千七百五十八万五千円、簡易水道事業が四百八十八万五千円、四十六年度に比べ五十八万七千円の増となった。

天小三期に 四千五百十三万円

へ五百三十三万円。北野地区に四百二十万三千円。二田追分線舗装に四百二十万五千円。追分公民館道路舗装に三百三十一万二千円。二田新町北団地舗装に六百五十六万六千円。同南団地舗装に二百五十九万九千円。天王八号線舗装も発生しています。

かけ金は、ひとり年間三百円で、傷害の程度により五千円から五十万円まで受けられます。この共済制度は、手軽に入れてしかも手続きがかんたんで、万一の時の生活設計にも役立つみんなの制度です。

町では、ただいま昭和四十七年度の加入申し込みを役場総務課で受け付けています。家族ぐるみ、部落ぐるみで加入しましょう。

おとなも子どもも みんなで加入を

交通安全は、わたしたちの強い願いにもかかわらず、新聞やテレビなどで毎日のように悲しいニュースが報道され、交通戦争は年々激しくなっています。

本町でも、自動車台数とともに交通事故の発生も大変多くなっている現状です。みなさんにとり、不幸にして交通事故にあつた人々を救済するために、県内六市、六十四カ町村で「交通災害共済組合」を組織しています。

「家庭の日」作文コンクール 入選作品 ②

東湖小三年 児玉 由美子

わたしの家は、しょうゆやパン、おかしなどを売っているお店です。

家には、お店のことと、わたしたちのせわでいそがしいおかあさん、高校生の和子ねえさん、バレエ部にはいって、夜おそく帰ってくる、ちえねえさんいつも戸じまりをする六年生の敬子ねえさん、すえつ子のわた

しと五人の女ばかりです。おとうさんは、仕事の都合で東京ではたらいいます。

おかあさんは、市場へ仕入れのため三時三十分ごろおきて、ごはんのしたくをし、いきまごはんのかたきをして、おなかをたべていかなので、おなががすくだらうなと思います。そのことを知っているのは、わたし

だけですが、わたしは、ときどき市場へついでいくからです。市場へ行って、あっちこっち走り回って、大きなはいっぱいの品物を仕入れて、せおってきます。なんだか、かわいそうになつてきました。だから、わたしは、おかあさんにおこられるのが、いやなのでたまにません。

おかあさんは、世界じゅうで一番すきです。

おかあさんが家にいるときはおこつてばかりいます。おこらせないように、わたしはねえさんたちと、けんかをしないと思つても、とり合いのけんかをしておこられてしまいます。おこられたとき、家を出したいようなら感じます。ときもありました。でも、わたしたちは、ひとりでも、わたしたちをやらせ、おかあさんがいなければならぬと思ひます。

わたしの家では、あらたまつて、家族会話をひらいたことがありません。

でも、夕はんの時、みんなそろつてたべます。そのあと、おかあさんは、毎日「ガスのせんしめていったか」「テレビをちゃんとつけていったか」と聞きまます。そのつぎに「先生におこられなかったか」と聞きます。もし、わたしたちが家庭そうだんをしたら、こんなことを話し合いたいと思つています。

お金をあまり使わないで、家を大きくして、いろいろのものを買って、おかあさんになんぞをかけるようにすることです。こんなそうだんをし、わたしは、わたしの家は、お店なのでは、はずかしくないように、つづいて、わたしたちが、たくさん品物が売れるようにしたいことが、ゆめみたいなきことだからです。わたしたちが、おかあさんがいないとき、あまりお金を使わないようにしたいと、話し合っています。

学年は四十五年度現在です。

47年度 一般会計 3億9千146万2千円の内訳

歳 入

歳 出

単位千円
△は減額

款 項	本年度	前年度	比較	款 項	本年度	前年度	比較
1. 町 税	74,825	70,162	4,663	1. 議 会 費	14,181	11,982	2,199
1 町 民 税	18,201	17,699	502	1. 議 会 費	14,181	11,982	2,199
2. 固定資産税	35,502	33,232	2,270	2. 総 務 費	75,783	51,147	24,636
3. 軽自動車税	3,371	3,226	145	1. 総務管理費	54,152	32,196	21,956
4 町たばこ消費税	12,000	11,000	1,000	2. 徴 税 費	11,269	9,449	1,820
5. 電気ガス税	5,750	5,000	750	3. 戸籍住民基本 台帳費	4,226	3,564	662
6 木材引取税	1	5	△ 4	4. 選 挙 費	1,571	2,658	△1,087
2. 地方譲与税	3,500	0	3,500	5. 統計調査費	1,364	977	387
1. 自動車重量 譲与税	3,500	0	3,500	6. 監査委員費	117	107	10
3. 自動車取得税 交付金	4,800	3,071	1,729	7. 交通安全対策費	1,245	765	480
1. 自動車取得税 交付金	4,800	3,071	1,729	8. 企 画 費	1,839	1,431	408
4. 地方交付税	231,292	186,689	44,603	3. 民 生 費	39,846	21,550	18,296
1. 地方交付税	231,292	186,689	44,603	1. 社会福祉費	11,656	7,267	4,389
5. 交通安全対策 特別交付金	362	305	57	2. 児童福祉費	24,268	10,760	13,508
1. 交通安全対策 特別交付金	362	305	57	3. 国民年金事務費	3,921	3,522	399
6. 分担金及び 負担金	6,458	0	6,458	4. 災害救助費	1	1	0
1. 分 担 金	6,458	0	6,458	4. 衛 生 費	10,164	9,342	822
7. 使用料及び 手数料	6,717	6,068	649	1. 保健衛生費	5,479	5,659	△ 180
1. 使 用 料	5,670	5,233	437	2. 清 掃 費	4,685	3,683	1,002
2. 手 数 料	1,047	835	212	5. 労 働 費	279	203	76
8. 国庫支出金	17,997	19,504	△1,507	1. 労働諸費	279	203	76
1. 国庫負担金	13,447	15,175	△1,728	6. 農林水産業費	33,021	14,975	18,046
2. 国庫補助金	2,313	2,440	△ 127	1. 農 業 費	32,765	14,863	17,902
3. 国委託金	2,237	1,889	348	2. 水 産 業 費	256	112	144
9. 県支出金	16,752	8,113	8,639	7. 商 工 費	3,364	2,356	1,008
1. 県負担金	778	183	595	1. 商 工 費	3,364	2,356	1,008
2. 県補助金	13,504	4,828	8,676	8 土 木 費	32,757	21,096	11,661
3. 県委託金	2,470	3,102	△ 632	1. 土木管理費	5,072	4,621	451
10. 財産収入	95	10,093	△9,998	2. 道路橋梁費	26,700	15,477	11,223
1. 財産運用収入	95	10,093	△9,998	3. 住 宅 費	985	998	△ 13
11. 寄 付 金	1,000	0	1,000	9 消 防 費	11,691	9,795	1,896
1. 寄 付 金	1,000	0	1,000	1 消 防 費	11,691	9,795	1,896
12. 繰 越 金	3,000	5,000	△2,000	10. 教 育 費	135,788	169,698	△33,910
1 繰 越 金	3,000	5,000	△2,000	1. 教育総務費	14,649	9,275	5,374
13. 諸 収 入	5,364	6,056	△ 692	2 天王小学校費	55,465	120,006	△64,541
1. 延滞金、加算金 過料	3	3	0	3. 出戸小学校費	17,179	2,795	14,384
2. 町預金利子	800	650	150	4. 東湖小学校費	3,887	10,287	△6,400
3 寄託金元利収入	3,075	2,050	1,025	5. 追分小学校費	12,205	2,979	9,226
4. 雑 入	1,486	1,506	△ 20	6. 天王中学校費	8,213	6,626	1,587
貸付金元利収入	0	1,847	△1,847	7 天王幼稚園費	3,943	2,293	1,650
14 町 債	19,300	25,000	△5,700	8. 出戸幼稚園費	2,684	2,225	459
1. 町 債	19,300	25,000	△5,700	9. 学校給食費	6,008	5,011	997
歳 入 合 計	391,462	340,061	51,401	10. 社会教育費	10,354	7,052	3,302
				11 保健体育費	1,201	1,149	52
				11. 公 債 費	34,088	27,417	6,671
				1. 公 債 費	34,088	27,417	6,671
				12. 予 備 費	500	500	0
				1. 予 備 費	500	500	0
				歳 出 合 計	391,462	340,061	51,401

住民総参加の町づくり

◆五回目の公民館大会◆

天王町公民館大会が、三月十二日に社教委員、運審委員、各分館長、部落会役員など関係者多数が出席して、町公民館で行なわれた。

この大会は「だれでもが住んでみたくなるような町づくり」と「生まれ生きてよかつたと思ふような生活づくり」を求めていままでの成果をまとめ、生活のなかに学習を取り入れ、公民館活動と住民運動の方向を確立しようとする開かれたもので、今回で五回を数える。

当日は、優良分館や読書感想文の入賞者などの表彰が行なわれたあと、町長が「天王町の町づくりの現状と構想」を説明、四十七年度からの町づくりの具体的な方向をのべた。引き続き社教係長の伊藤金政氏が、社会教育の現状と今後の課題を青少年教育、婦人教育、成人男子教育、高齢者教育など広範囲にわたって提案。その中で、四十七

年度に展開する運動として、現在、三分館で実践している自治公民館方式を、さらにパイロット地区として二分館を指定、徐々に自治公方式の方向に進める。また、社会体育の内容の深化をはかるとともに、町民体操を普及させる——とのべ、注目された。

さらに、住民総参加の地域社会づくり運動を展開するため、大崎分館長の吉田新悦氏と上出戸分館長の京谷銀治郎氏が、実践公民館の指定と自治公方式の実践をめぐる発表、運営、財政の問題、戸主会との関連性など、自治公方式への方向づけをのべた。

また、パネル討議では、桜庭清美氏（運営審議会議長）中田兼太郎氏（追分分館長）三浦兼氏（大崎部落会長）三浦絹子氏（婦人会事務局長）丸谷昇氏（青年会長）の五氏が、それぞれ立場から、役割りや今後に

残された課題などをのべ、五回大会の幕を閉じた。

当日表彰された団体、個人は次のとおり。

●優良分館表彰
追分分館（中田兼太郎分館長）

●優良分館職員表彰
鎌田鉄雄（追分）笹刈海紀男（上出戸）佐藤昇（三軒屋）目黒久治（羽立）戸田勝也（天王）

●優良分館職員表彰
石川次男（同）石川喜代志（塩口）出口吉太郎（出戸新町）

●優良分館職員表彰
町婦人会羽立支部（安田咲子会長）

●優良分館職員表彰
吉田八重子（青年会）堀井克見（同）安田慶太郎（前運審会長）佐々木肇（前出戸小PTA体育部長）

●第一回天王町読書感想文コンクール入賞者

▼特選（京谷ひとみ、東湖小）伊藤寛美（天王小）鎌田るり子（同）工藤康裕（追分小）佐々木千鶴子（出戸小）目黒良子（天王中）安田咲子（羽立）

▼入選（武田さとる、天王小）加賀谷さち子（出戸小）渡部さとし（天王小）進藤まさこ（同）

期待と不安、喜びと悲しみ

第二十五回目の天王中学校（井川久一校長）の卒業式が、三月十五日に行なわれ、二百四人が母校をあとにした。

雪が降りしきる校庭に恩師、父兄が見送りの列をつくる。暖冬のお返しにきたのでは？ その中を複雑な表情でぐりぐりぬける。

どちらからともなく手をさしのべ、しっかりと手を握りしめ「ガンバレヨッパハイ」の声があちこちから聞える。

今は、現代つ子とかドラーイとかいわれているが、女生徒の涙ぐむシーンは今も

りっぱな社会人に

天中就職者激励会

故郷を忘れないで——町社会福祉協議会では、ことし天王中学校を卒業して社会にでる生徒の激励会を三月十日、町公民館で行なった。

ことし、同校を卒業、就職する生徒は県外十八人、県内九人自家営業六人の合わせて三十三人で、県内就職者のうち本町へ就職する生徒は四人となつてい

照井元（追分小）三浦得子（天王小）武田ひとみ（同）門間織子（追分小）村山敏子（東湖小）小玉康人（追分小）照井尚子（同）三浦保志（天王小）神馬睦美（天王中）原田好子（聖霊）

中）桜庭英悦（天王中）菊地れい子（上出戸）佐々木璋子（下出戸）桜庭亀一郎（塩口）佐々木公一郎（出戸新町）加藤孝（追分長沼）



▲「誇りと責任をもつて……」と誓いのことばをのべる 児玉和賀子さん

会では、町長が「いつでも、どこでも自己反省、計画性もち、自分の家庭と故郷を忘れないで、りっぱな社会人になつて欲しい」と激励。これに対し、神奈川県藤沢市に就職する児玉和賀子さんが、就職者を代表して「天王町、天王中を卒業したことに誇りと責任をもつて、社会人として他の人に劣ることなく、懸命に努力します」と、社会への夢をふくらませ、力強く誓った。

このあと、町長と語る会が行なわれ、初めは緊張した面持ちでダンマリ型だったが、徐々に質問が飛び出し、大規模工業開発はどんな方法で進められるか、工業高校誘致問題、米生産調整問題、工場誘致問題など、町を心配する気持ちが伺われる他、これから社会人としての心構えなど、不安も隠しきれないようす。

生徒たちは、町社協からの記念品を手に、新しいスタートに若い胸が小踊りしているようだった。

選二十編を作品集にまとめた。作品集のタイトルは「心のあしあと」

これは、町公民館で住民の読書に対する普及向上をはかるため「生活のなかに読書を、読書のなかに生活を」をスローガンに運動を進めてきたもので、このコンクールでは、児童生徒、学生、一般からあわせて百二十五編の応募があり、そのなかから公民館図書室運営委員のメンバーで編成された選考委員会で審査され、特選七編、入選二十編をきめ、十二日に開かれた公民館大会の席上で表彰された。入賞者氏名は、公民館大会の表彰者欄に掲載。

心のあしあとを 発刊

読書 感想文 百二十五編あつまる

一月十日から、四部門で募集していた「読書感想文」が、このほどまとまり、特選七編、入



▶雪降る校庭でシツカリと手を握り別れを惜しむ

喜びと悲しみ 天中204人が卒業

期待と不安、喜びと悲しみ

第二十五回目の天王中学校（井川久一校長）の卒業式が、三月十五日に行なわれ、二百四人が母校をあとにした。

雪が降りしきる校庭に恩師、父兄が見送りの列をつくる。暖冬のお返しにきたのでは？ その中を複雑な表情でぐりぐりぬける。

どちらからともなく手をさしのべ、しっかりと手を握りしめ「ガンバレヨッパハイ」の声があちこちから聞える。

今は、現代つ子とかドラーイとかいわれているが、女生徒の涙ぐむシーンは今も

昔も変わらない。

高校へ進むもの、社会へ飛び立つもの。みんなに祝福され、暖かく見送られた生徒は、それぞれの道を懸命に進むことでしょう。

なお四十六年度の卒業生は、天王小百十人、出戸小二十二入東湖小五十八人、追分小三十人です。

心のあしあとを 発刊

読書 感想文 百二十五編あつまる

一月十日から、四部門で募集していた「読書感想文」が、このほどまとまり、特選七編、入

選二十編を作品集にまとめた。作品集のタイトルは「心のあしあと」

これは、町公民館で住民の読書に対する普及向上をはかるため「生活のなかに読書を、読書のなかに生活を」をスローガンに運動を進めてきたもので、このコンクールでは、児童生徒、学生、一般からあわせて百二十五編の応募があり、そのなかから公民館図書室運営委員のメンバーで編成された選考委員会で審査され、特選七編、入選二十編をきめ、十二日に開かれた公民館大会の席上で表彰された。入賞者氏名は、公民館大会の表彰者欄に掲載。

時効分は六月末までに

国民年金

わが国には、国民年金をはじめ、厚生年金、船員保険、各種職員共済組合などの年金制度があり、二十歳以上の国民は必ずどれかの年金制度に加入する建前となっておりますので、職域の年金制度の加入者や、恩給や年金をうけることのできる人（配偶者を含む）を除いた二十歳から六十歳未満の人は必ず国民年金に加入する義務があります。

国民年金は、「老齢年金」「障害年金」「母子年金」「遺児年金」「寡婦年金」などを支給し、それぞれ本人や家族の生活を保障しようとする制度ですが、これらの年金をうけるには、保険料の一定期間納めることが必要です。この一定期間とは、老齢年金をうけるには二十五年以上（ただし昭五、四、一以前に生れた人は年齢に応じて十年から二十四年に短縮）必要です。

したがって、加入手続きを忘れていたり、加入しても保険料を納め忘れておらずと、せっかくの年金をうけられなくなり、しかもこの保険料は二年

五月一日に 商業統計調査

この五月一日を調査期として、商業統計調査が行なわれ、わが国の商業について、その構造および活動の実態を明らかにし、商業振興施策の立案、推進の基礎資料とするものです。

調査は二年ごとに実施され、すなわちこの商店、商社が調査対象となります。

商業統計調査は指定統計となっており、該当者は配布された調査票に自ら記入し調査員訪問の際には提出してください。

また、調査票に記入された内容については厳重に秘密が守られ、統計目的以外に使用されることはありません。つまり徴税その他調査票を提出したものの利害に直接関係のあるようなことはありません。

春の狂犬病予防注射が、四月十日から四日間、町内十一カ所で実施されます。犬の飼い主は鑑札登録と予防注射を受けてください。

最近、各市町村での犬の咬傷などによる事故は、年々増えています。県内でも、野犬対策はますますきびしくなり、犬の放し飼いは厳重に注意されますので、犬は必ずつないでおきますように。

納保険料を納めることを認めておられます。

これからの社会は、年金時代といわれ、年金なしの生活は考えられなくなり、住民の全てが年金をうけられるよう、加入もれ者や長期未納者の申し出をお待ちしております。

くわしいことは年金係へおたずねください。

婦人会だより

去る三月十四日、総会を開き、次の優良支部を表彰しました。

▽羽立支部（公民館大会表彰）
児玉支部、上戸支部、二田新町支部、下戸支部

会終了後、体力テストを行ない、何十年ぶりかボールを手にしたというおかあさんもおり、楽しいムードの中で、自分の健康のパロメーターである体力を知りました。この体力テストは

とに使用することは法律で固く禁止されています。お忙しいところ恐縮ですが、調査の重要性をご理解いただき協力くださるようお願いいたします。調査員は五月一日過ぎにお伺いします。

誕生おめでとう
（二月中）

上江川	二田	羽立	二田	北野	追分西	羽立	二田	二田	真壁
三藤	長野	小野	安田	鈴木	斎藤	長木	長山	中野	長智
香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子	香奈子

二田	上江川	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田
二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田
二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田	二田

「天曉宵」

追分西 渡部 六愁
卒園の子が残す絵や未来都市砂に書く尻取り文字や春休み猿渡る鉛水吸うて芽木ほぐる春霧の夜明け頑具とまだ寝る子

逃げ場なき船春雷の的となり
消防車発つばかりにて春疾風
汽笛の上飛んでかめめの白映
ゆる
水仙の九き葉先や幼児健診

十日から 春の狂犬病予防注射

春の狂犬病予防注射が、四月十日から四日間、町内十一カ所で実施されます。犬の飼い主は鑑札登録と予防注射を受けてください。

最近、各市町村での犬の咬傷などによる事故は、年々増えています。県内でも、野犬対策はますますきびしくなり、犬の放し飼いは厳重に注意されますので、犬は必ずつないでおきますように。

四月十一日 出戸新町佐々

木良蔵宅前（午前十時～十時半）
下出戸神社前（午前十一時～一時半）
役場前（午後一時～二時）

四月十三日 牛坂高橋商店前

午前十時～一時半
午後一時～二時半

四月十二日 上出戸分館前

午前十時～一時半
午後一時～二時半

四月十日 大崎分館前

午前十時～一時半
午後一時～二時半

四月十一日 中羽立分館前

午前十一時～一時半
午後一時～二時半

四月十二日 塩口分館前

午後一時～二時半

献血ありがどう

2月29日 天王地区
献血ありがどう
献血ありがどう

二人の前途を祝福します

新湊立片桐セキ子
二人の前途を祝福します

みんな追放しよう

死を招く
みんな追放しよう

春の交通安全運動は

四月一日～十五日まで
春の交通安全運動は

「スローガン」

みんな防ごう
「スローガン」

「重点推進目標」

新入学児の交通安全防止
「重点推進目標」

おおくやみ申上げます

天王 太田銀治郎（65才）
二田 船木忠吉（74才）
上江川 小柳宗吉（64才）
江川 藤原キユ（66才）
追分 渡部テツエ（65才）
不動台 佐藤圓助（72才）
天王 洞城テツ（53才）
不動台 榎庭福治（77才）
追分 関ヒサ（60才）

秋田市の伊藤村

伊藤村 伊藤誠正
秋田市の伊藤村

追分市の近藤村

追分市の近藤村

秋田市の石川村

秋田市の石川村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村

秋田市の伊藤村